

「あなたがだいすき」

3歳児にとって、「命」は難しい概念です。保健指導として命の大切さを伝える前に、まずは「自分はとても大切な存在なのだ」ということを感じてほしくて、今回の指導では「あなたがだいすき」という絵本を読みました。(小さな絵本なので、パワーポイントにして読み聞かせをしました。)

いろいろな動物たちが「あなた」を大好きだと言ってくれ、抱きしめてくれたり、守ってくれたり、いつだってあなたの味方だと言ってくれます。



「絵本でいろんな動物が『あなた』にしてくれることを、みんなには誰がしてくれるの?」と質問すると、「ママ。」「お母さん。」「パパ。」「...と家族がしてくれるんだ、と笑顔で答えていました。「パパと一緒に寝ようってうるさいんだよ。」という言い方をしている子もいましたが、「そのくらい〇〇ちゃんのごちそうが大好きなんだね。」と言うと、照れながらも笑顔でした。家族も、そして幼稚園の先生たちも「みんなのごちそうが大好きだよ」と伝えて終わりました。

<今回の保健指導のポイント>

あなたがだいすき

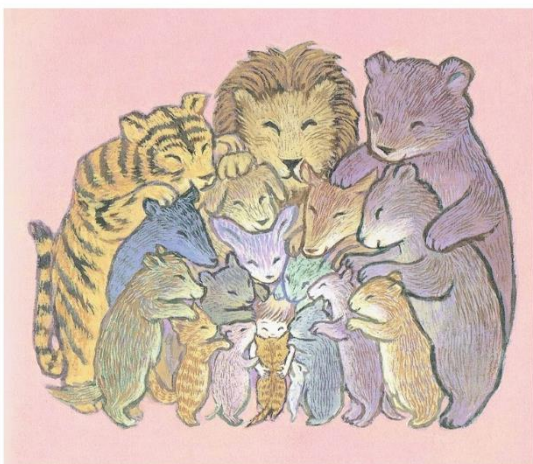


絵本「あなたがだいすき」

鈴木まもる作(ポプラ社)

「あなたが いるだけで とっても とっても うれしい」ということをいろいろな動物が伝えてくれるお話です。そして最後にお母さんが、「とくべつ わたしは あなたが だいすき」と抱きしめてくれます。

自分が「かけがえのない、素敵な存在なのだ」という自己肯定感を高めしてくれる素敵な絵本です。



「みんな あなたが だいすきです」

ページをめくるたびに、いろいろな動物が「あなた」を大切にしてくれます。

そして、この「あなた」は、りす組子どもたち、「みんな」のことなのです。

繰り返し読んであげたい絵本です。